

公表

事業所における自己評価結果 児発

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 空		令和7年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	活動に応じて場所の工夫を行っている。 高学年や中高生の多い日はスペースが狭く感じる。 各部屋の役割がきちんとされている。	活動スペースの拡張の為、事業所移転も検討中である。 日々の支援において行う項目により部屋の使い分け等工夫を入れている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		十分だと思う。 個別支援が必要児童に対する配置も適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	段差はあるのでバリアフリーではない。 視覚支援等用いて分かりやすいよう工夫している。 バリアフリーを必要とする児童がいない。歩行困難な児童に対し、少しの段差等訓練の1つとなると思う。	賃貸物件の為バリアフリーではないが、数センチの段差を極端に気にしたり慎重に昇降する場合は視力等の問題点にも気付ける等のメリットもある。段差があることによって「段差の向こう側は学習室」という認識は入りやすく場面設定が有効である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清潔にしており遊び道具も充実している。 毎日清掃・消毒しており危険な箇所がないようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		音に敏感なお子様や集中が必要な時など別室で活動できるよう配慮している。 活動や個別支援に応じて臨機応変に使用されている。 個々に応じて使用する場所を提供できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		職員間で意見を出し合い、より良くしようと努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		頂いた意見を真摯に受け止め、その後の支援に活かしている。 LINEや連絡帳・電話で意向を聞き情報共有を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎月の職員会議の実施と毎日の朝礼等実施。 その都度の話し合いや会議等で意見交換を積極的に行っている。 月に一度の会議で報告・連絡ができており支援向上されている。 常に情報共有が出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	外部の意見も聞き入れながら、より良い業務の改善に繋げている。 他事業所との意見交換を行い、改善に繋げている。	第三者委員会は今後検討している。 他事業所の訪問や情報共有において気付いた点のご意見はしっかりと活かしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修の案内を開示する等、積極的に外部研修へ参加できる環境を整えて頂いている。 毎月の内部研修や、希望する研修への参加が出来ている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援計画に基づいて作成され、HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		アセスメント用紙を用いて細やかな聞き取りを行い、分析を行っている。 分析結果を計画に活かしている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援員の意見を汲み取り、子どもの事を第一に考えた計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		それぞれに応じた計画で支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		毎日の個人支援記録や専門的支援は決められたフォーマットあり。 5領域に対応したアセスメントシートを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		細かく設定されている。 全ての項目を作成し分かりやすいように心がけ設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		イベント等の立案・実行を行っている。 毎回チームで活動の立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		利用者様のニーズに応えられるよう活動アンケートを配布する等工夫している。 様々な活動が取り入れられるよう配慮している。 児童の成長に応じてプログラムがアップデートされている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		それぞれの子どもに合わせた計画を作成し、個別・集団それぞれ設定して支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝礼を行い申し送りや現況等話し合い、その日行われる業務内容等しっかりと情報共有が出来ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	勤務時間内で行うことは難しい場合は、LINEで共有している。 その都度振り返りが行われている。 気付いた点の報連相をきちんと行い共有している。	送迎スケジュールの関係で終礼が出来ない日もあるが、当日の引き継ぎ内容はLINEやメモで記録を残し共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日必ず記録を取り、次の支援に活かしている。 記録を残して情報共有を行っているので、全職員で周知徹底することができている。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直し等検討している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者又は児発管が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		様々な関係機関と連携できる体制を整えている。 各関係機関と常に情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		関係機関と情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		小学校へ移行する際は書面や学校訪問にて情報共有を行っている。 保護者や関係機関と確認を行い必要に応じて連携を取っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		交流会に参加し、意見交換や相談等行えている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	今のところ保護者ニーズがなく、未就学児との交流は設定していない。 戸外活動などで交流の機会を設けている。	戸外活動では、公共の施設など同世代のお子様がいっしょる場所にも出向く事がある。 順番を守ったり譲り合う経験は出来ている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		親身に寄り添った支援ができている。 送迎時や連絡帳・電話等でその都度情報共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		必要に応じて、相談・助言を行えている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に丁寧に行われている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		個別面談で家族のニーズをしっかりと把握できている。 個別面談は事業所で行い、時間をかけて利用者様の意向（本音）を伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		保護者様に計画の内容を丁寧に説明し、同意を得たうえでサインを頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		日々保護者の拠り所・頼れる場所になっている。 その都度訪れる悩みや問題など親身になり適切に対応できている。 面談時に困りごと等ないか尋ねている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		リサイクルバザー・保護者会・親子遠足・茶話会など定期的に行われている。 保護者参加型の活動を計画し連携できる場を設けている。 保護者が参加出来る行事を少しずつ増やしていく努力をしている。 保護者会の開催で交流できる機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		LINEや電話・来所訪問で寄り添った対応が出来ている。 相談があった際は丁寧にに対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月5日に空通信を配布し、活動内容・場所・持ち物・費用などの確認ができるようにしている。 空通信やブログ、フォトギャラリーなどで活動内容が分かるよう発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		職員一人一人が意識していると認識。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		様々なツールを活用し伝わりやすいよう配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	近所の方に行事を伝えている。 地域との交流はあるが、招待行事は行っていない。	招待行事は行っていないが、事業所周辺の清掃ボランティアを行ったり、日々の子どもの挨拶等で近隣の方々から周知して頂きお優しいお声がけ等頂いている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に訓練を行い、災害の意識も高めている。 マニュアルの策定、実際の訓練、消防士を招いての講話等徹底して行なっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年に2回必ず実施。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者と情報共有し把握に努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者の情報提供があった際は対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		必要な訓練や研修は随時行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		マニュアル等含め周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ファイルにまとめいつでも確認できる体制を整えている。 職員会議で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		内部研修で実施している。 必ず研修を設け、適切な対応が出来るようにしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		きちんと説明している。	